

1992年(平成4年)5月8日(金曜日)

平成の世にチャンバラ復活―。既成の武道や剣道にとられない新しい格闘技「スポーツチャンバラ」の人氣が高まっている。初心者でもすぐに始められる手軽さと、なんでもありの自由なスタイルが魅力で、ストレス解消やシェイプアップに効果的。五、六年ほど前から中部各地に同好会組織ができ、愛知県では半年余りの間に四つの支部が誕生した。教育現場でも岡崎市の岡崎女子短大に同好会が発足したのははじめ、豊橋市の小学校がクラブ活動に取り入れるなど、愛好者は着実に増えつつあるようだ。

スポーツチャンバラは横浜市 魅力。攻撃する場所が自由で、大力を振り回したり、宙を舞うの全日本護身道連盟会長、田辺 休の一部を打たれた方が負け。折入さん(和)が1年に考案。決まった構えもなく、好みに応 武器も自由で、小太刀と長剣 競技人口は現在、全国に四万十 じて片手、両手、剣道流、ソエ の二刀流の試合や、小太刀対小 五万人。海外にも三万人を超え ンシング流と乘しめる。戦法も、 きたなといった「異種戦」も 愛好者がい る、という。

チャンバラ復活

手軽な新スポーツに

中部 スポーツ

五月などで、体に当たってもそれほど痛みを感じない。重い防具もなく、安全なため女性や子どもたちも気軽に参加できる。型にとられないのが最大の



中部各地に同好会ができ、愛好者も着実に増えている

▶武器・戦法に決まりなし▶

自由に打ち合い ストレスを解消

男女対決はもちろん、大人一人対子ども三人、二十人対二十人の「合戦」など、遊び心あふれる試合を組めるのも特徴だ。本来の目的はイザという時に路上の棒や週刊誌を丸めて身を守るだけの技術を身につける。ちと同好会などを作ったところ、愛好者が徐々に増えてきた。愛知県では昨年九月以降豊橋、名古屋、尾張旭、知立と相次いで支部が設立。豊橋支部はさらに四支部に発展する予定だとい

名古屋支部に小学六年と三年の息子と一緒に入門した同市の貸しビル業・松村泰(さん)は「子どもたちには受験勉強のストレスを解消させよう」と思い始めさせた。予想以上に興味を示しているので、肝心の勉強がおろそかにならないか心配なくらい」と笑う。海外渡航の機会が増えるなど危険な目にあう可能性もあるので、長女にも入門を勧めるといふ。

ことだが、制限なく、脇腹に打たけの日常生活を送っている現代人には格好のストレス解消法となるようだ。中部でも横浜の本部で学んだ経験者らが勤務先や地域の人た

ひと昔前なら、この路地や空き地でも見られたチャンバラ。ここはひと昔と、左衛門(きねづか)、腕に帯巻のお父さん方父親の威厳回復のため、親子で始めようといふ。

